

小城市立岩松小学校
学校だより 第24号



岩松小だより

令和7年10月10日発行
発行者 校長 真子靖弘

「意見のちがいは成長のチャンス！」

10/3(金)の全校集会で、「『意見のちがいは成長のチャンス！』というテーマで講話をしました。

<校長講話の要旨>

意見のちがい：考えが違うのは当たり前。

自分と違う考えに触れる成長の機会。

ケンカ：相手を傷つける言動に発展してしまった状態。

解決につながらない。

大切なこと：意見がぶつかったら、「どうすればみんなが楽しくなるか」等の目的を考え、相手を尊重して話し合う(対話する)こと。



「意見のちがい」は決して悪いことではなく、むしろ、自分とはちがう考えに触れることで、**新しい発見**があったり、**相手をより深く理解できたりする成長するための大切な機会である**と話しています。ご家庭でも、お子様が友達との関係で悩んでいる様子でしたら、「それは『意見のちがい』だったのかな？ それとも『ケンカ』になっちゃったのかな？」と、じっくり耳を傾けていただくと幸いです。

子どもたちは、時にぶつかり、仲直りする経験を繰り返しながら、**人との関わり方を学んでいきます**。これが「**学校は小さな社会**」と言われる所以です。今後、学校と家庭が連携しながら、子どもたちの健やかな心の成長を見守っていきたいと考えております。

最後に、子どもの「問い」と感想を紹介します。

なぜ、ケンカがおこるのだろう？【4年】

→考えがちがって当たり前と思っていないことと、共通の目的を考えず自分の考えを強引に進めるから。

私はそうなる前に私は譲ります。みんなが喜んでくれたら私は嬉しいので…。【2年】

→そういう考えもあるよね。

校長先生のアンケート、毎回楽しいです。【3年】

→そう言ってもらえるとめちゃくちゃ嬉しいです。



10/14 は、たかのてるこさん講演会

現在申込 12 名。まだまだ間に合いますよ。



笑いとお鼓で再認識！朝ご飯の大切さ

10/3 日(金)の全校集会は、**給食委員会の発表**で大いに盛り上がりました！委員会からの要望で発表時間を設けたのですが、その内容がとにかく面白かったのです。導入は、**Oさんと龍馬さんのコミカルな小芝居**。「朝ご飯を抜いたら、応援団で大きな声が出せない！」という身近なテーマで、あっという間に全校の子どもたちの心を掴みました。そのまま突入した「**朝ご飯クイズ**」。委員全員がアイディアを出し合いながら作成した**プレゼン**で進みました。出題の合図には、**太鼓を鳴らし、フロア全体を巻き込む掛け声「ちゃーらん！」**。答え合わせ後のリアクションまで準備。全員が参加し、大きな盛り上がりを見せました。最後も笑いを誘う小芝居で締めくくり、大成功のうちに終了！**楽しさとインパクト**をもって、「朝ご飯は二品以上」を再認識できた、素晴らしい時間となりました。



【緊急】子どもの視力低下が深刻化！

今日、10/10 は「目の愛護デー」です。保健室から提供いただいたデータによると、この1年で子どもたちの視力が大きく変化しています。

A判定(1.0以上): 73% → **55% (18%も減少)**

C判定(0.3~0.6): 6% → **19% (13%も増加)**

「黒板の字が見えにくい」というだけでなく、将来の健康にも関わる(将来、**緑内障**や**網膜剥離**といった失明につながる病気)のリスクが**数倍に高まる**ため、早めの対策がとても重要です。

<今日からできる！4つの予防法>

屋外活動: 1日合計**2時間以上**、**外で過ごす**(日陰OK)。

休憩: 30分近くを見たら、**20秒以上**

遠くを見て目を休ませる。



距離: 本やスマホは、目から**30cm以上**離して見る。

姿勢と明るさ: **背筋を伸ばし、部屋は明るく**する。

人は情報の約8割を目から得ていると言われます。視力低下を指摘された場合は、症状がなくても、できるだけ早く**眼科を受診**するようお願いいたします。